

海況速報（クロロフィルa分布）

平成29年7月7日

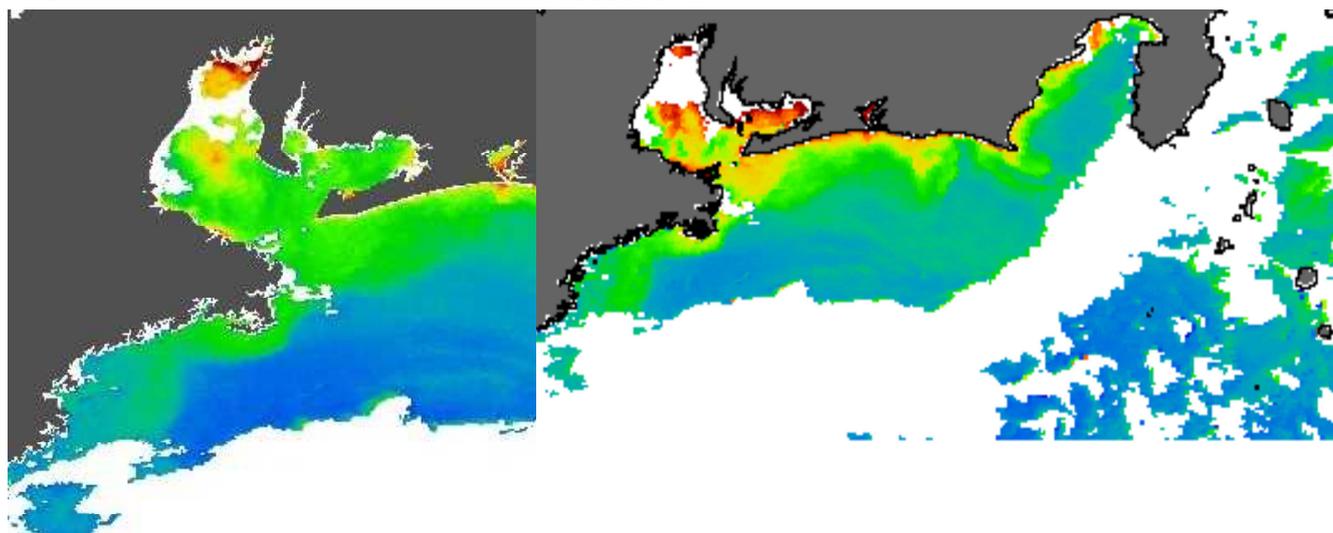
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

7月6日の人工衛星クロロフィルa画像を見ると、クロロフィルa濃度は、内湾域では、伊勢湾奥部で高くなっています。また、2日の分布図と比べ、4日の台風3号の降雨により河川からの流れ込みが増加した影響で、内湾、沿岸域で濃度が高くなっています。

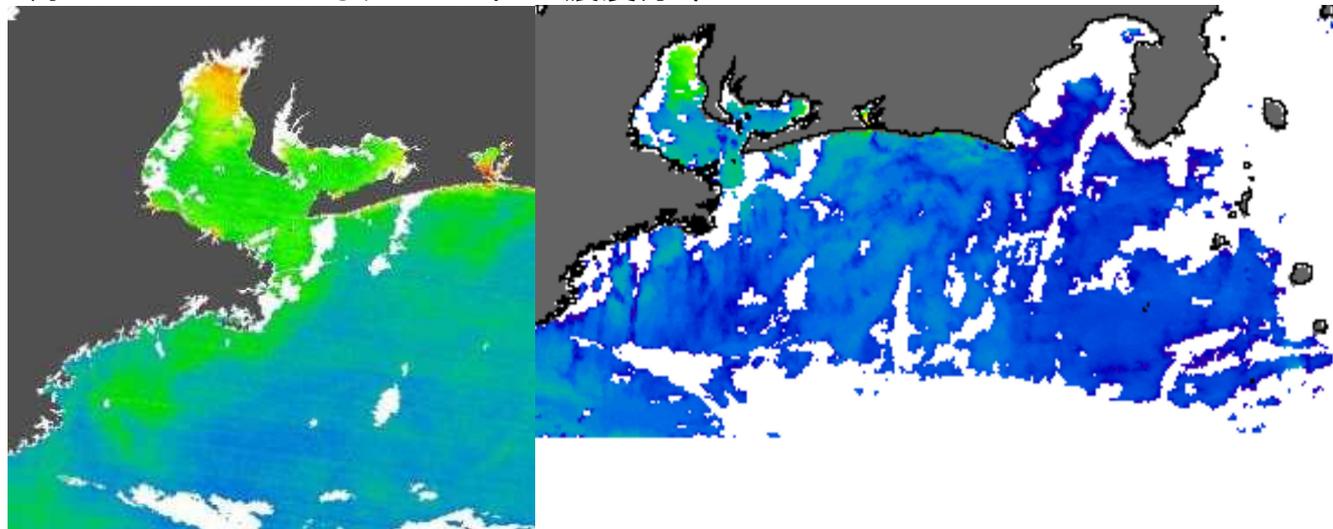
クロロフィルa濃度の経時変化を見ると、渥美外海以外の海域では5月下旬をピークに低下しています。渥美外海では5月中旬以降、横ばいとなっており、7月上旬に一時的に高くなっています。

(宇宙航空研究開発機構(JAXA)／東海大学(TSIC/TRIC)提供のMODIS画像)

7月6日のAQUAによるクロロフィルa濃度分布



7月2日のAQUAによるクロロフィルa濃度分布



※画像データによるクロロフィルa濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがありますので、目安としてご利用ください。

海況速報（クロロフィルa濃度の変動）

平成29年7月7日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

人工衛星 AQUA に搭載された MODIS センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています（7月6日までのデータ）。

